

事業名

命の尊さを地域で学ぶ子供たちの防災・防犯体験

目標

地域と子供達が、お互いの命の大切さを共有化し、防災・災害時に地域や家族のために何ができるかを学ぶ**1. 取組の視点**

防災・防犯については、地域・学校単位でそれぞれに訓練研修している。今回の訓練の目的は子供と大人が、言いかえれば学校と地域が防災・防犯訓練を通じて、避難場所の確認・ルールを守れるか・お互いを助け合い一つのことに集中できるかなど自分自身が体験を通じて覚えることを目的とした。

**2. 取組の概要**

地域と学校において安心・安全な地域を目指し平城っ子クラブを中心に活動している年間計画に、防災・防犯の訓練が計画されていた。

地域と学校教育協議会において一つの事業で地域と学校が参加し共有化できるものは何かを



検討する中で、平城っ子クラブの計画が地域とともに共有化できる事業として取り組むことを決定した。

地域は、自治会長会議・地区自主防災・防犯役員会で訓練の詳細について話し合いをもったその結果を協議会において全体化していった。

避難訓練・消火訓練・給水救助訓練・炊き出し訓練などについて検討を重ね、市北消防署・日赤奈良県支部に講師の派遣依頼及び地域の婦人会・消防団員も参加協力をお願いした。幼・小・中の教職員及びPTAの皆さんも積極的に取り組んでいただいた。

**3. 成果と課題**

防災訓練の中でも重要避難訓練、子供達も各町の指定避難場所に集まり奈良市が指定する避難場所(平城小学校)に徒歩で集合した。

短い時間で大人も子供もいろいろな訓練に参加しバケツリレー・炊き出し訓練など指示に従うことでルールを守れた。中学生も土嚢づくり、消火訓練に地域の人達とお互い助け合いながら出来たことは評価に値する。また地区消防団員が中心となり放水訓練は地域の安全を地区消防団員として皆さんから評価をいただいた。課題としてはこのような訓練が一過性のものにならないためにも地域・学校が継続して地域の安全・安心して暮らせる町づくりに取り組むことができるかということである。

事業名 学校・地域・保護者と共に楽しく繋がる文化鑑賞！

目標 文化芸術に触れることで、感性、共感する心、想像力、豊かな心等、調和のとれた人格形成をめざす

1. 取組の視点

平城校区は、平城京の昔から多くの旧蹟や文化財を有する実にすばらしい地域である。近くには秋篠寺・西大寺・平城宮跡も指呼の間にある。校区には、旧村と宅地開発された新興住宅街が混在している。家庭・地域・学校園が一体となって、豊かな心と確かな学力、実践力を持つ生徒の育成に努めるなど教育に熱心な地域である。数年前までは、様々な生徒指導上の問題行動も頻発し、落ち着いた学校生活が送れない状況もあったが、学



校・保護者・地域が一体となって取り組むことによって、落ち着きを取り戻している。しかしながら不登校、いじめ問題等生徒指導上の問題が撲滅したわけではない。様々な体験活動を通して、豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養う。

2. 取組の概要

本校は、生徒会が中心となり、「We can!平城中最高」～平城中を良い雰囲気～のローガンの元に平城中学校をより一層良い学校にするために取り組んでいる。心の豊かさやゆとりのある生活とは何か、自らが文化活動の素晴らしさとは何かを感じ取れる心の育成等を目指す。その一つとして、文化発表会の中に、文化鑑賞「少女剣士がゆく」という演劇を取り入れ、友人、先輩・後輩、家族、地域の方々と共に文化芸術鑑賞を体感

する。地域では、「命の尊さを地域で学ぶ子どもたちの防災・防犯訓練」が、市民安全課、市教育委員会、北消防署、日赤奈良県支部、地元消防団、婦人会等の協力を得て開催された。当日は、晴天に恵まれ、お年寄りから幼児、保護者・地域の方々・児童・生徒合わせて約800人の参加によ



る大規模なイベントとなった。各自治会ごとに午前8時に避難を開始し、平城小学校に避難を行った。その後、土のう造り、担架作成・搬送練習、消火訓練、消防団による放水訓練、日赤奈良県支部の方による講演と実技指導、炊き出し訓練等が行われた。様々な訓練を体感すると共に、緊急時の対応を学ぶことができる貴重な場となった。

3. 成果と課題

生徒会本部役員の生徒達が、様々な行事の運営を通して成長してくれた。文化発表会当日に演劇「少女剣士がゆくを」鑑賞させたことが、生徒達には数少ない経験であり、とても印象に残ったという感想が多く聞かれた。学校園・地域住民約800名が参加した防災・防犯訓練はとても意義深く、学ぶべきことがたくさんあった。日頃からコミュニティを大切にして、連帯感を深めるなど地域の防災力を高めておく必要がある。次年度は、幼・小・中・地域あげでの教育を考えるイベントと、小学校・中学校の周年行事を同時開催したい。

事業名

平城から学び、平城で学ぶ ～心、からだ、くらしづくり～

目 標

地域のゲストティーチャーを招いた体験学習をし、地域の方との交流から児童の規範意識、達成感、成就感を養う**1. 取組の視点**

本校では、従来から食育を中心とし、体験学習を取り入れてきたが、それを本校の特徴ある教育活動として継続・発展させたいと考えた。また、栽培体験活動のゲストティーチャーとして地域の方に協力いただくことで、児童と地域の方との結びつきを強め、平城のこの地域で生活していることを実感させたい。人生経験豊富な地域の方と触れ合うことでその方の生き方を学び、児童の規範意識や達成感、成就感を養うことにつなげたい。

2. 取組の概要

1年生 「昔遊び」

地域の「名人さん」に、こま・けん玉・投げ竹・まりつき・竹馬などの昔遊びを教えてもらい、名人さんと遊んだり、友だちと遊んだりして楽しんだ。また、幼稚園児を招待して、遊び方を教え一緒に楽しんだ。

2年生 「MY大根作り」

地域の方にたい肥を分けてもらって土作りから始め、米袋を利用して種をまき、毎日水やりをして世話をしたり観察を続けたりした。



2月に収穫した自分の大根を家に持って帰り、保護者に調理してもらっていた。

3年生 「しょうゆ塾」

国語科の「すがたをかえる大豆」の学習と一人一鉢で大豆を育ててきた体験とを関連させて、ゲストティーチャーからしょう油の作り方を教えてもらった。

4年生 「奈良筆作り体験」

ゲストティーチャーに来ていただいて、奈良筆の歴史や作り方を教えていただき、仕上げの工程を実際に体験して「自分の筆」を作っていた。

5年生 「米作り体験」

地域の方から学校に隣接している田をお借りして、田植え（6月）、稲刈り（10月）体験をした。地域の方のコーディネートでJAの職員の方も手伝ってくださった。



できた新米でおにぎりを作り、米作りの大変さと収穫の喜びを味わい、お世話いただいた方に感謝の気持ちをもつことができた。

6年生 「味噌汁づくり」

昨年地域の方に教えていただいて仕込み、熟成させていた自分たちの手作り味噌を使って、味噌汁づくりを実習した。また、「お米・味噌感謝会」を開き、お世話になった地域の方を招待して交流し、感謝の気持ちを伝えた。

3. 成果と課題

実際に体験することで児童の理解が深まり、達成感・成就感を養うことができた。また、教師・児童ともに地域の方との交流が生まれてきた。

今後、児童の疑問や希望を取り入れ自分の課題を解決するための体験学習としてとらえられるようにし、体験学習の計画段階から地域の方と接する事ができるような取り組みを進めることで、教師・児童・地域の結びつきをさらに強めたい。

事業名

様々な感動体験を通して輝け 夢いっぱい！平城っ子

目標

様々な人々・物・出来事とのかかわり、感動を味わい、心を動かす体験を共にしながら豊かな心を育む

1. 取組の視点

核家族化や遊びの環境の変化等により幼児は、様々な人々や自然とのかかわりで心躍る体験が少なくなっている。本園では、友達や保護者、地域の人々、高齢者、未就園児との交流や行事を通して、人とかかわりを体験し、栽培活動、音楽会、お話の会等の感動体験を重ね豊かな感性や心を育てていきたい。

2. 取組の概要

地域の方々・未就園児・保護者等、様々な人々との出会いを喜び、触れ合いを楽しみ、人とかかわる力を育てるために、交流する機会や行事活動を年間計画に位置づけ、活動や遊びを通して心を通わせる感動体験を積み重ねてきた。



(高齢者の方々との交流)

幼稚園の近くにある老人ホームを訪問し、おじいさんおばあさんと一緒に歌を歌ったり、挨拶をしたり、手をつないでわらべ歌遊びをしたりして、交流をもった。最初は、どのように接したらいいか戸惑っている様子でしたが、教師の援助や、平城園、ならやまえん、秋篠と回を重ねる事で触れ合うことの楽しさや、高齢者の方の優しさを感じることができ、穏やかな時間がもてた。

(未就園児と一緒に)

毎月、未就園児ひまわり組が幼稚園に来て、親子で遊んだり、在園児と交流したり、運動会やな

らっこまつりなど園の行事に参加したりしている。未就園児と一緒に遊ぶ中で、自分からかかわろうとする意欲やコミュニケーション力が育っていった。



(栽培活動を共に)

花壇・にこにこ畑の環境整備では、地域の方々や民生主任児童委員の方と一緒に、花を植えたり、除草作業をしたりした。地域の方にパンジーや、ももいろタンポポなどの花苗の植え方を教えていただいた。自分たちから、「きれいな花を植えてもらって、ありがとうございます。」と自然とお礼の言葉がでたり、すすんで水やりをしたりする姿がみられ親しみの気持ちや感謝の気持ちなど育むことができた。

地域の方にも、幼稚園の様子をよく知っていただく機会にもなった。



3. 成果と課題

様々な人々・物・出来事とのかかわり、普段あまり体験できない感動体験を共有できた。地域の方々・未就園児・高齢者の方々との交流は、喜んで参加し、親しみの気持ちをもち優しさや思いやり・感謝の心が育ちました。お話の会・音楽会・作品展等では、豊かな感性が育まれました。アンケートの結果で「豊かな心が育っている」と高い評価を得た。園の60周年を記念して作成したりフレットは、幼稚園教育の理解・啓発になりました。様々な人々との交流や、行事等を年間計画に位置づけ、見直し継続していきたいです。また保育内容を創意工夫し、魅力的な教育活動に努めていきたい。